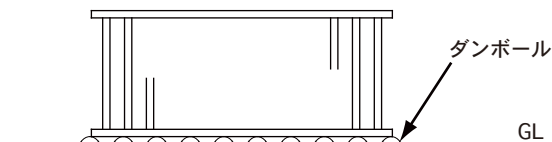


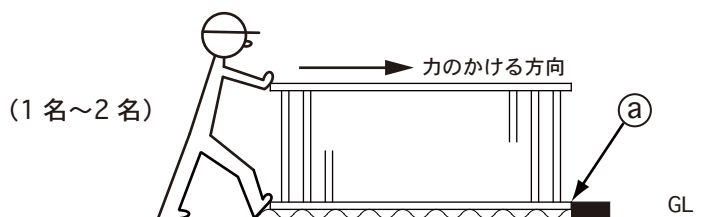
# ガードフェンス 丸格子型 勾配・端尺パネル加工要領書

## 勾配パネル加工要領

1. 下胴縁側を下にしてパネルを立ててください。この時、下胴縁保護の為、ダンボールなどを敷いてください。



2. 下胴縁を足で押えて固定し、体重をかけて上胴縁を水平方向に押してください。これを数回繰り返してください。

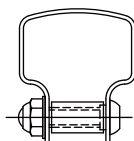


※最初の曲げ初めのみ体重をしっかりかけてください。

※曲り始めると反動をつければ楽に変形します。

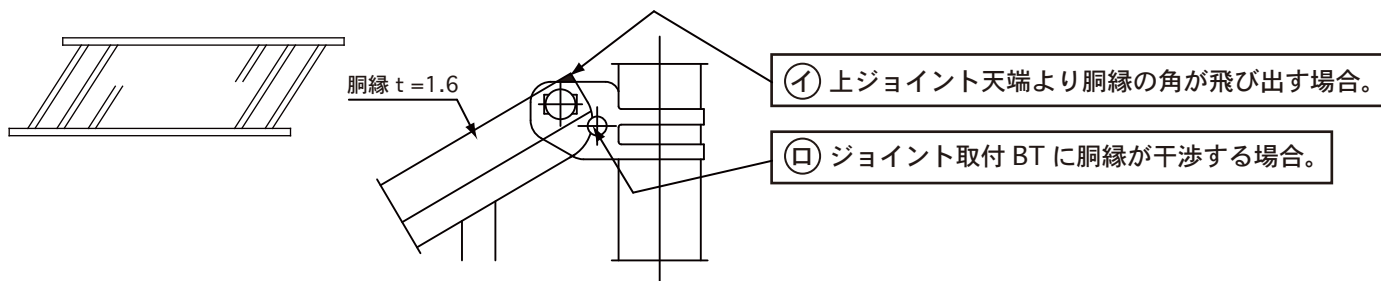
※(a)部に基礎などの固定物を利用すれば加工が容易です。

※ 塗装状態及び、めっきの状態により変形しづらい時は水平パネルの M8 ボルト・ナットを適所、一回転程度ゆるめてください。



M8 ナットをゆるめてください。

3. 2. により胴縁がずれるので上・下胴縁の出の測定を行い、上下左右のバランスをとり、調整してください。 ※ 胴縁が動きにくい時は、M8 ボルト・ナットを適所、一回転程度ゆるめてください。
4. M8 ボルト・ナットをゆるめた場合は所定角度に設定後、ボルト・ナットを締めなおしてください。  
注) 締め忘れがないか点検のこと。
5. 胴縁端部の角を勾配に合わせてカット、補修してください。



① 及び ② の場合、胴縁を切欠いてください。

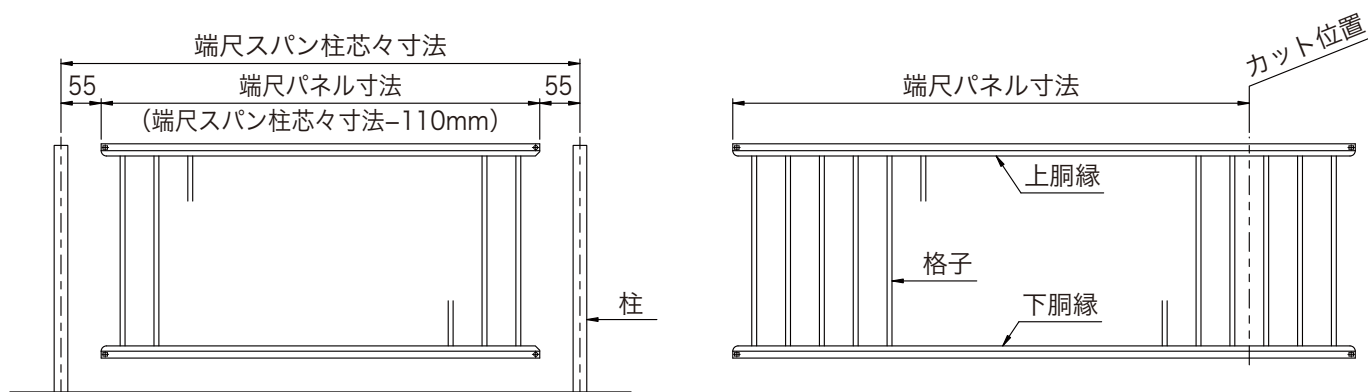
・ 切欠箇所は危険な角やバリがないようにサンダーなどで仕上げ、補修塗料にて補修塗りを施してください。

・ 胴縁の内外及び、格子に付着した切粉などは確実に取り除いてください。不十分だと、もらい錆の原因になります。

## 端尺パネル加工要領

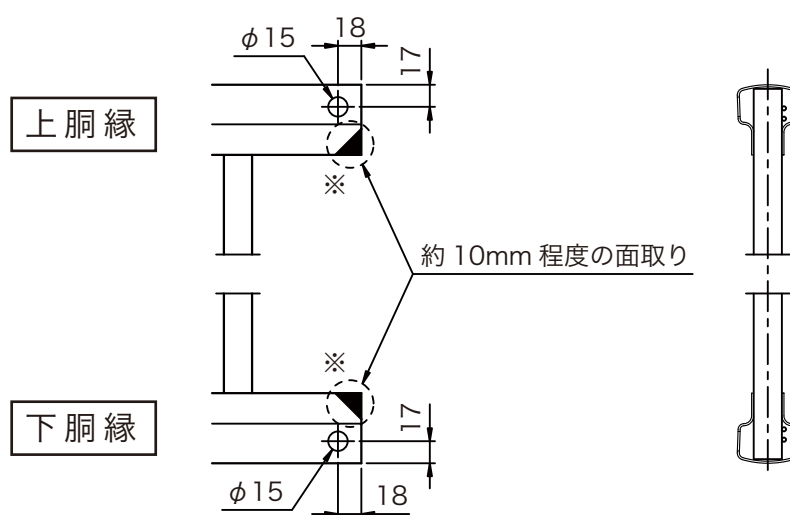
### 1. 胴縁カット

- ・ 胴縁カット位置（端尺スパン柱芯々寸法－110mm）にマーキングを施し、上下胴縁をカットしてください。但し、マーキング位置が胴縁カット又は、パネル取付けのうえで、格子パイプと干渉する場合には、パネルの M8 ボルト・ナットをゆるめて格子をずらしておいてください。



### 2. 胴縁の穴あけ及び面取り

- ・ 上下胴縁ともにカット面から 18mm、パネル上下外面から 17mm の位置に  $\phi 15$  の貫通穴をあけてください。
- ・ 危険防止の為、胴縁の角（※印）に約 10mm 程度の面取りを施してください。



### 3. 加工箇所の手入れ

- ・ カット、穴あけ、面取り箇所はバリがないようにサンダーなどで仕上げ、補修塗料にて補修塗りを施してください。
- ・ 胴縁の内外及び、格子に付着した切粉などは確実に取り除いてください。不十分だと、もらい錆の原因になります。

- 4. 格子はパネル左右均等になるようにパネルの M8 ボルト・ナットをゆるめて調整し、締めなおしてください。